FINALDATA8.0 特別復元版 CD ブート版マニュアル

FINALDATA8.0 特別復元版

上に示されたソフトウェア製品（以下「本ソフトウェア製品」または「本ソフトウェア」といいます）は、使用許諾の合意書に基づいて提供されるもので、合意書の条項に従う場合にのみ使用することができます。本ソフトウェア製品は、コンピュータ ソフトウェアおよびそれに関連した媒体、ならびに印刷物（マニュアルなどの文書)、「オンライン」または電子文書を含みます。本書に記載された内容は情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。

版権

Copyright (C) AOS Technologies, Inc. All Rights Reserved.
この著作物の全部または一部に関わらず、AOS テクノロジーズ株式会社の書面による許可なく複製、複写および他の言語に翻訳することを禁じます。

商標

FINALDATA、ファイナルデータ、およびネットワークデータリカバリ(NDR)は、FINAL DATA INC.の登録商標です。Microsoft、MS-DOS、Outlook、PowerPoint、Windows、Windows NT、Windows Server、Windows Vista は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の社名、ブランド名及び製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

著作権

本ソフトウェア製品 (本ソフトウェア製品に組み込まれたイメージ、写真、アニメーション、ビデオ、音声、音楽、テキスト、アプレット、その他を含む)、付属のマニュアルなどの文書、および本ソフトウェア製品の複製物についての著作権は、AOS テクノロジーズ株式会社またはその認定サプライヤーが有するもので本ソフトウェア製品は著作権法および国際条約の規定によって保護されています。「FINALDATA」のソースコードプログラムの著作権は、FINAL DATA INC.が所有します。

概要

Windows が起動しなくなってしまった場合、別途ハードディスクを用意し、Windows と FINALDATA をインストール、ファイルの復元を行うというのが、従来の方法でした。CD からブートする FINALDATA を用いれば、もう少し手軽に復元を試みることができます。CD ブート版は KNOPPIX 5.1.1 日本語版をベースにしており、Windows 版の「高度な復元」に似た画面構成となっておりますが、機能が限定されています。

- 復元対象は、ハードディスクのデータです。
- 論理ドライブ(C:や D:)は表示されません。
- メールの復元機能はありません。
- 復元するファイルのプレビューは、テキスト、HTML、および画像ファイルの一部に対応しています。
- サムネール表示は出来ません。
- ファイルビューア、ディスクビューアは ASCII での表示のみです。
- セクタの保存/読み込みや、スキャン結果ファイルの保存/読み込みは出来ません。
- ファイルの開始クラスタを解析する機能はありません。従って、Windows2000/XP/Server2003/Vista/Server2008 上で削除した FAT32 ファイルの復元を行う場合、正しく復元できないことがあります。
- NTFS 圧縮・暗号化ファイルの復元はサポートしていません。
- 「回収ファイル」は表示されません。

システム必要条件

以下のシステム条件を満たしている必要があります。

- CD からの起動をサポートしている PC/AT 互換機
- PentiumⅢ 700MHz あるいは互換のプロセッサ
- 160MB 以上の RAM
- 12 倍速以上の CD-ROM ドライブで、CD ブートをサポートしているもの
- 256 色 SVGA 解像度以上（Windows とは異なる解像度になる場合があります)

また、条件を満たしている場合であっても、起動できない/デバイスを認識できない場合があります。そのような場合は Windows 版をご使用ください。

操作手順

1. コンピュータの電源を入れ、CD-ROM から起動するように設定を変更します。
   ESC キー、F12 キーなどで、一時的に CD-ROM から起動するよう変更できる機種もあります。詳しくは、お使いのコンピュータのマニュアルをご確認ください。「セットアップユーティリティ」「BIOS の設定画面」「Setup」という項目で説明してあることが多いようです。CD-ROM からの起動方法が記載されていない場合でも、リカバリディスクの使い方として説明されていることがあります。

2. CD-ROM ドライブに FINALDATA の CD を挿入し、コンピュータを起動させます。
   FINALDATA CD ブート版のオプション入力画面が表示されます。必要に応じて、「boot: 」と表示されている行にオプションを入力します。

3. オプションを入力して Enter キーを押すか、何もせずに 5 秒経過すると、各種準備を行った後、シリアル番号入力画面が開きます。黄色いシリアルシート(ダウンロードでご購入の場合は、製品購入時に送付された電子メール)に記載されているシリアル番号を、ハイフンも含めて正確に入力し、[OK] をクリックします。

4. FINALDATA CD ブート版のドライブ選択画面が表示されます。

お使いのコンピュータに接続されており、FINALDATA が認識できた物理ドライブが表示されます。

5. 復元したいデータを含んでいる物理ドライブを選択し、[OK] をクリックします。
パーティションの検出が行われた後、検出されたパーティションが一覧表示されます。

6. この画面では、物理ドライブ中に見つかったパーティションに関して、ファイルシステムの種類やパーティションの開始位置、サイズを表示します。
   - Windows 95/98/ME では、ファイルシステムとして FAT または FAT32 が使用されます。
   - Windows NT や 2000、XP、Vista などでは、ファイルシステムとして NTFS が主に使用されますが、データ用のドライブに FAT や FAT32 が使用されることもあります。

   Windows でどのドライブ文字が割り当てられていたかは判別できないため、開始位置やサイズから見当をつけます。
   ※多くの場合、Windows では物理ドライブの先頭から順番に C: D: … と付けていきます。
   復元したいデータを含んでいるパーティションを選択し、[選択] をクリックします。

   ※期待するパーティションが表示されない場合、FINALDATA に直接データを調査、パーティションを推測させることも出来ます。見つけ出したいパーティションを含んでいると思われるパーティションを選んでから [形式を検索] をクリックし、検索するセクタの範囲を指定します。

   FINALDATA は指定されたセクタを検索します。

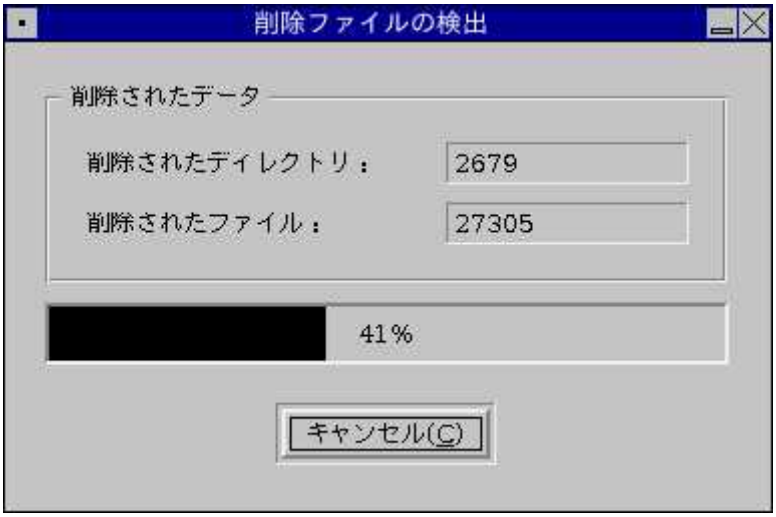
パーティションを検出すると確認画面(ブートセクタの検出画面や検出された形式画面)を表示します。

ブートセクタの検出画面が表示された場合、表示されているファイルシステムやサイズから、探したいデータのあるパーティションであるかを推測し、該当するものであれば [形式を選択] をクリックします。

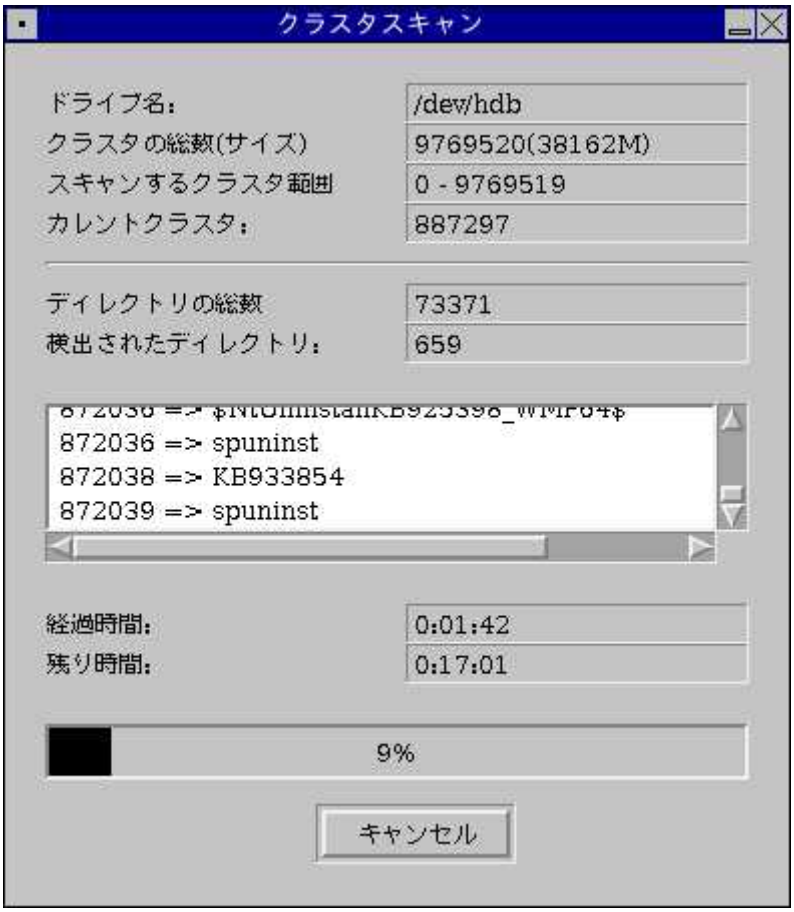
検出された形式画面が表示された場合、ファイルシステムは検出されたものの、アロケーションユニット（１クラスタのサイズ）が不明なままです。表示されている開始セクタから探したいデータのあるパーティションであるかを推測し、該当するものであれば、をクリックしてアロケーションユニットを選択、 [形式を選択] をクリックします。

どちらの画面でも、他のパーティションを検索するのであれば [継続] をクリックし、セクタの検索を続けます。

7. パーティションが選択されると、削除ファイルの検出（FAT ドライブの場合はディレクトリエントリスキャン）が開始されます。

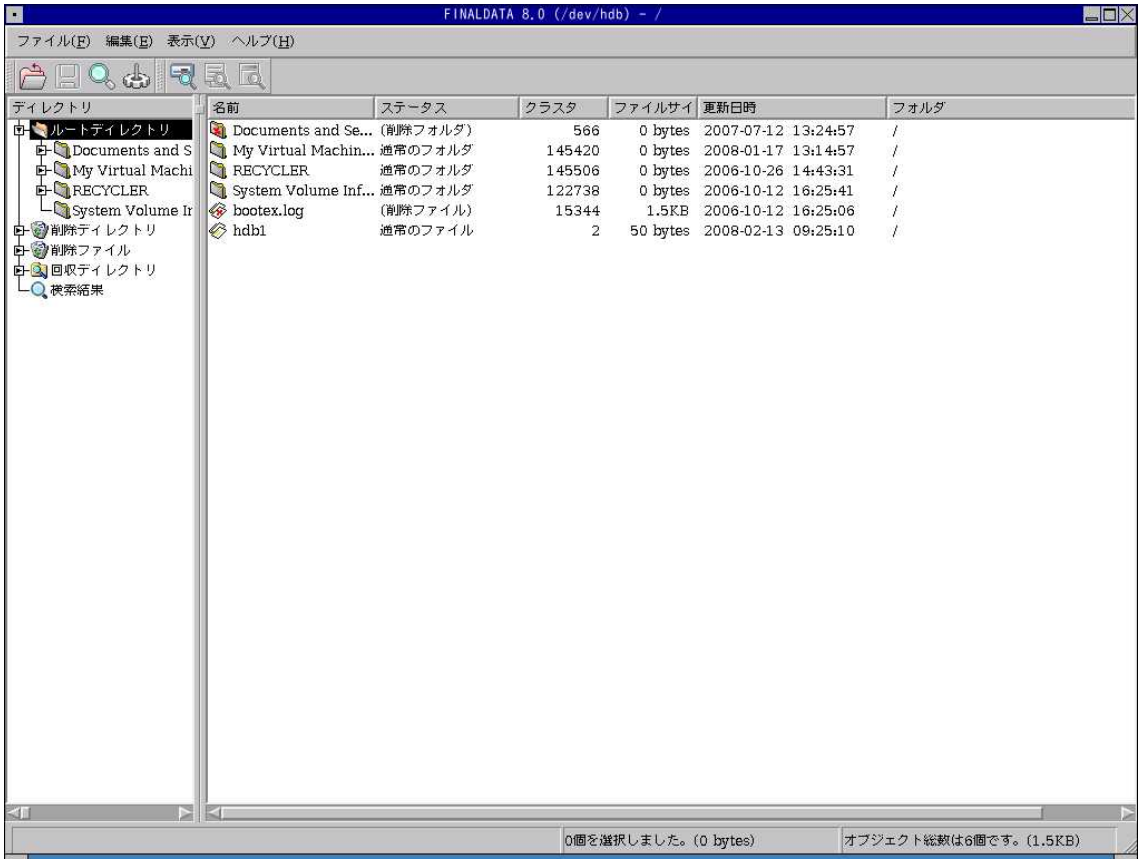


8. 検出が終わると、続けてクラスタスキャンが開始されます。



※削除ファイルの検出画面(ディレクトリスキャン画面)、クラスタスキャン画面では、[キャンセル] をクリックして処理を中断できます。その場合、中断した時点までの検出結果が反映されます。

9. クラスタスキャンが終了すると、スキャン結果の画面になります。



画面左側にはルートディレクトリ、削除ディレクトリ、削除ファイル、回収ディレクトリ、検索結果というフォルダが表示され、データ領域に残っていたデータが振り分けられます。詳しくは、Windows 版ヘルプ(マニュアル)の「スキャン結果」をご参照ください。

フォルダの中を探したり、検索機能を用いたりして、復元したいデータを見つけ出します。

10. 復元作業を始めるにあたり、復元先のドライブを用意します。FAT16 のドライブには 2GB までの、FAT32 のドライブには 4GB までのファイルを復元することが可能です。4GB 以上のサイズのファイルを復元する場合、NTFS のドライブを使用してください。

別コンピュータの Windows 共有フォルダに復元する場合:

[ファイル]-[Windows 共有フォルダに接続…] を選択します。Windows 共有フォルダに接続 画面が開きます。

Windows 共有フォルダを「¥¥コンピュータ名¥共有名」の形で(¥は画面上＼と表示されます)、アクセスする際に必要となるユーザ名とパスワードをそれぞれ入力し、[OK] をクリックします。接続に成功すると、

と表示されます。

※ 共有名にスペース(空白)が含まれていると、接続できません。

※ 共有名に漢字などの 2 バイト文字が含まれていると、接続できないことがあります。

外付けハードディスクや USB メモリに復元する場合:

ここで接続します。FAT/NTFS のドライブを使用できます。

内蔵ハードディスクに復元する場合:

FAT/NTFS のドライブを使用できます。ここでの操作は不要です。

11. 復元先のドライブを用意した後、復元するファイルを選択し、[ファイル]-[復元] を選択するか、マウスの右クリックで表示されるメニューから「復元」を選択します。

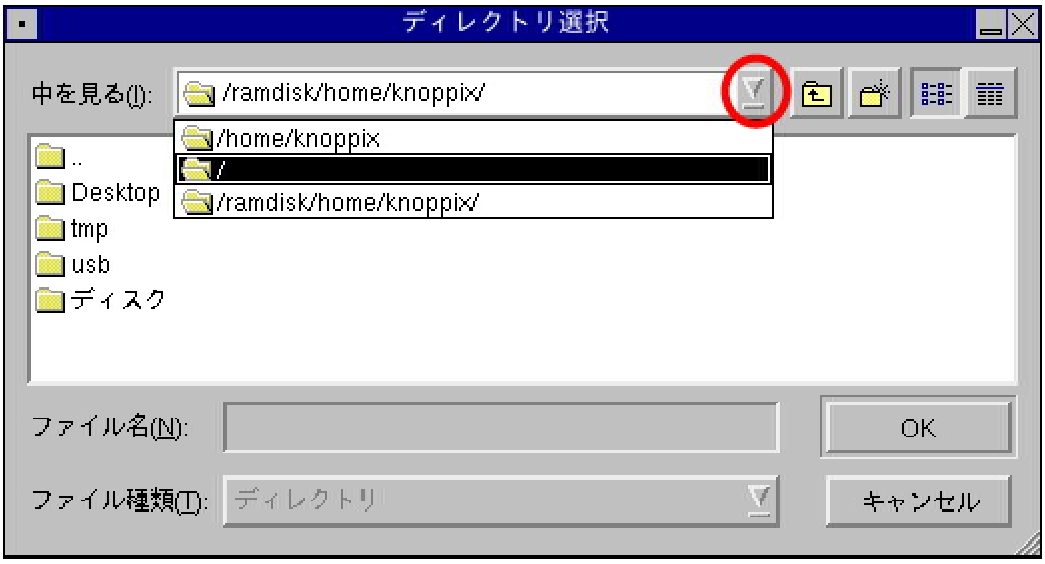
※復元時にファイル名やフォルダ名を変更することは出来ません。予め[名前変更]で変更してください。

12. 復元先を指定するための ディレクトリ選択 画面が開きます。復元先のフォルダを選択します。

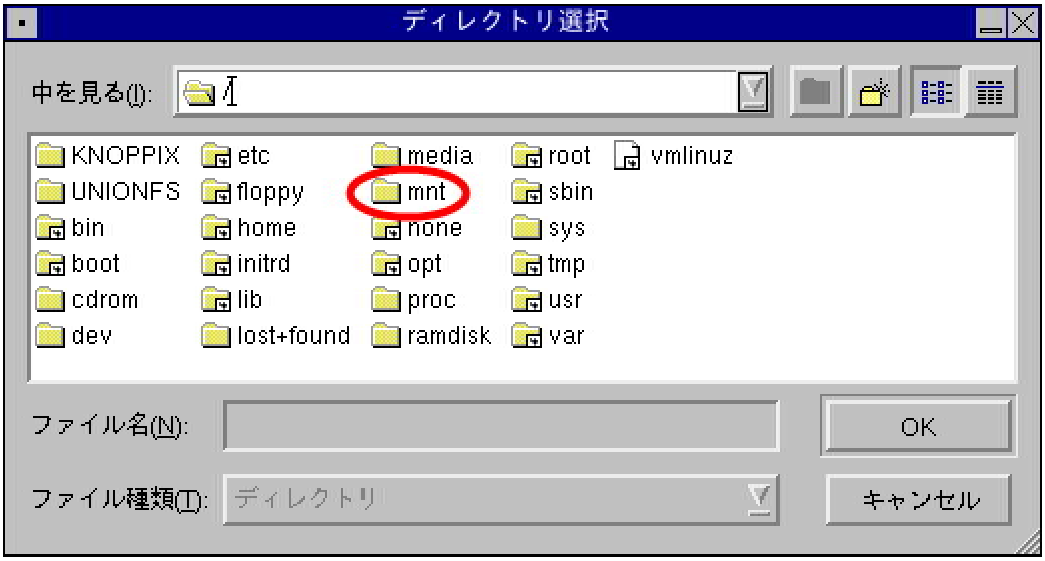
別コンピュータの Windows 共有フォルダに復元する場合:

接続した Windows 共有フォルダには、/mnt フォルダが割り当てられています。/mnt フォルダを選択してください。

① [中を見る] の右にあるマーク( )をクリックし、/ と表示されているものを選択します。



② mnt と書かれているフォルダアイコンをダブルクリックします。



③ Windows 共有フォルダのファイルやフォルダが表示されます。

④ Windows でファイルやフォルダを選択するときと同様に、フォルダアイコンをダブルクリックするとそのフォルダの中に入ります。 アイコンをクリックすると、現在選択しているフォルダから出て、1 つ上のフォルダに移動します。復元したファイルを保存するフォルダに移動します。

外付けハードディスクや USB メモリに復元する場合:

/ramdisk/home/knoppix/usb の中に、外付けディスクを指し示すフォルダ(sda1 や sdb2 など)がいくつかできています。適切なものをダブルクリックして開くと、外付けディスクにあるファイルやフォルダが表示されますので、適切なものを選択します。

① 開いたディレクトリ選択画面の、usb と書かれているフォルダアイコンをダ

ブルクリックします。

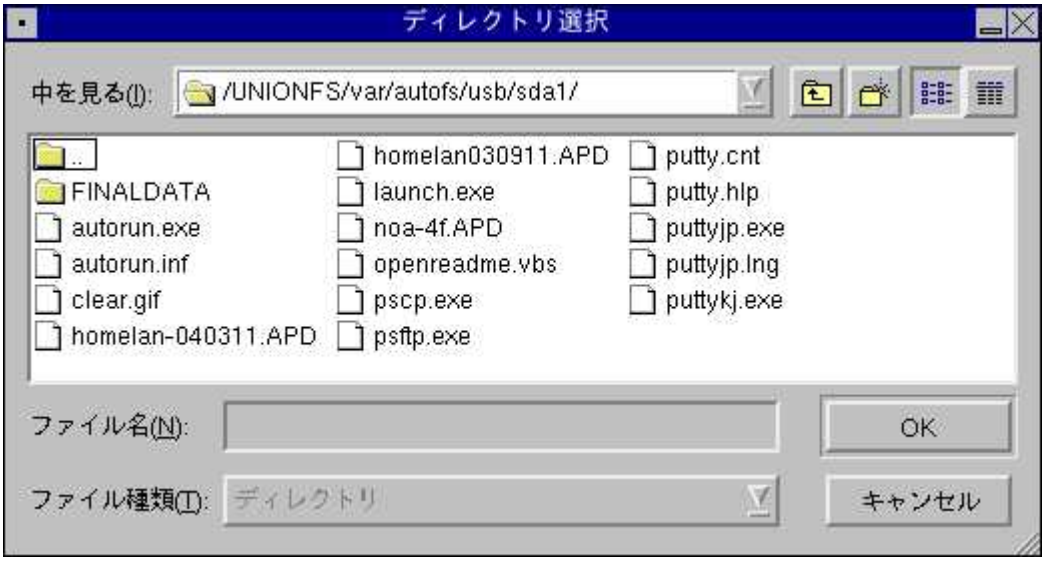
② 接続されている USB ハードディスクや USB メモリを指し示すアイコンが表示されます。下の図では 2 つの USB ハードディスク(USB メモリ)が接続されています。

※ 接続したUSBハードディスクに複数のパーティションがある場合は、sda1、sda2…、のように、最後の数字で区別します。

※ アイコンが表示されていない場合、接続した USB 機器が認識出来ていない可能性があります。認識するまでには時間がかかりますので、[キャンセル] をクリックして画面を閉じた後、20 秒程度待って下さい。その後、11. の操作から行ってください。

③ フォルダをダブルクリックすると、該当する USB ハードディスク(USB メモリ)のファイルやフォルダが表示されます。次の図は、sda1 をダブルクリック

したものです。



sda1 として認識された USB ハードディスク(USB メモリ)のファイルやフォルダが表示されています。

④ Windows でファイルやフォルダを選択するときと同様に、フォルダアイコンをダブルクリックするとそのフォルダの中に入ります。 アイコンをクリックすると、現在選択しているフォルダから出て、1 つ上のフォルダに移動します。復元したファイルを保存するフォルダに移動します。

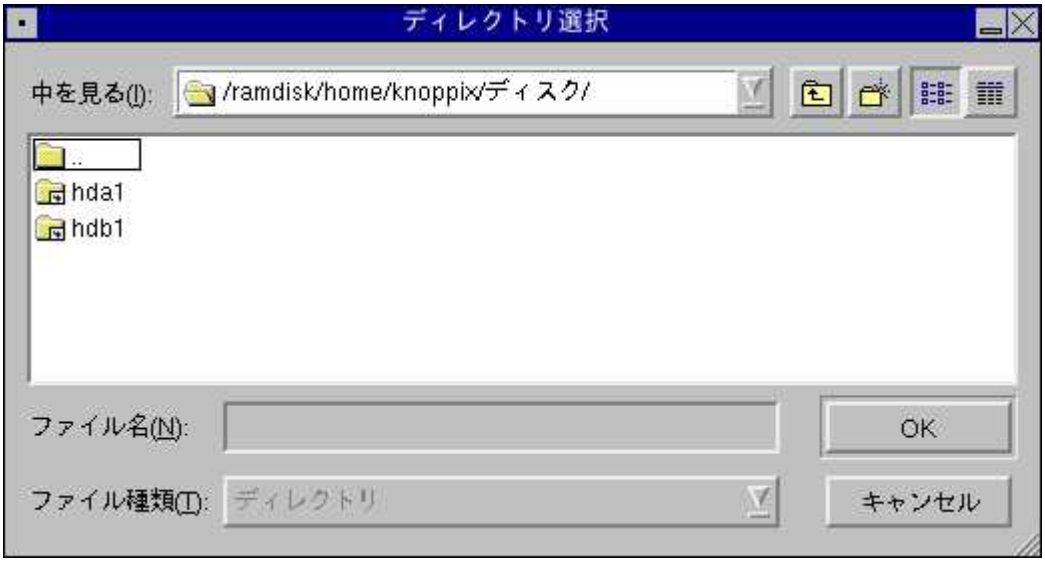
内蔵ハードディスクに復元する場合:

/ramdisk/home/knoppix/ディスク の中に、内蔵ディスクを指し示すフォルダ(hda1 や sda1 など)がいくつかできています。適切なものをダブルクリックして開くと、内蔵ディスクにあるフォルダやファイルが表示されますので、適切なものを選択します。

※復元したいデータが含まれている内蔵ディスクを指し示すフォルダ(およびその中のフォルダ)を指定すると、データが失われてしまうことがあります。

① 開いたディレクトリ選択画面の、ディスクと書かれているフォルダアイコンをダブルクリックします。

② 内蔵ハードディスクを指し示すアイコンが表示されます。下の図では、2 つのハードディスクが接続されています。



※複数のパーティションがある場合は、hda1、hda2…、のように、最後の数字で区別します。

③ フォルダをダブルクリックすると、該当する内蔵ハードディスクのファイルやフォルダが表示されます。次の図は、hda1 をダブルクリックしたものです。

hda1 として認識された内蔵ハードディスクのファイルやフォルダが表示されています。

④ Windows でファイルやフォルダを選択するときと同様に、フォルダアイコンをダブルクリックするとそのフォルダの中に入ります。 アイコンをクリックすると、現在選択しているフォルダから出て、1 つ上のフォルダに移動します。復元したファイルを保存するフォルダに移動します。

13. [OK] をクリックすると、指定されたフォルダにファイルを復元します。

14. 復元作業を終えましたら、[ファイル]-[終了] を選択、または画面右上のクローズボタン( )をクリックします。確認ダイアログで [はい] をクリックすると画面が切り替わり、CD-ROM ドライブのトレイが開きます。FINALDATA の CD を取り出して、トレイを閉めます。Enter キーを押すと、電源が自動的に切れます。外付けディスクに復元した場合、電源が切れてから取り外してください。
    ※ CD-ROM ドライブのトレイが開いてから 30 秒で電源が切れます。
    ※ お使いのコンピュータによっては、電源が切れないこともあります。トレイを閉めた後、電源スイッチを長く押して電源を切ってください。

その他の機能

検索画面

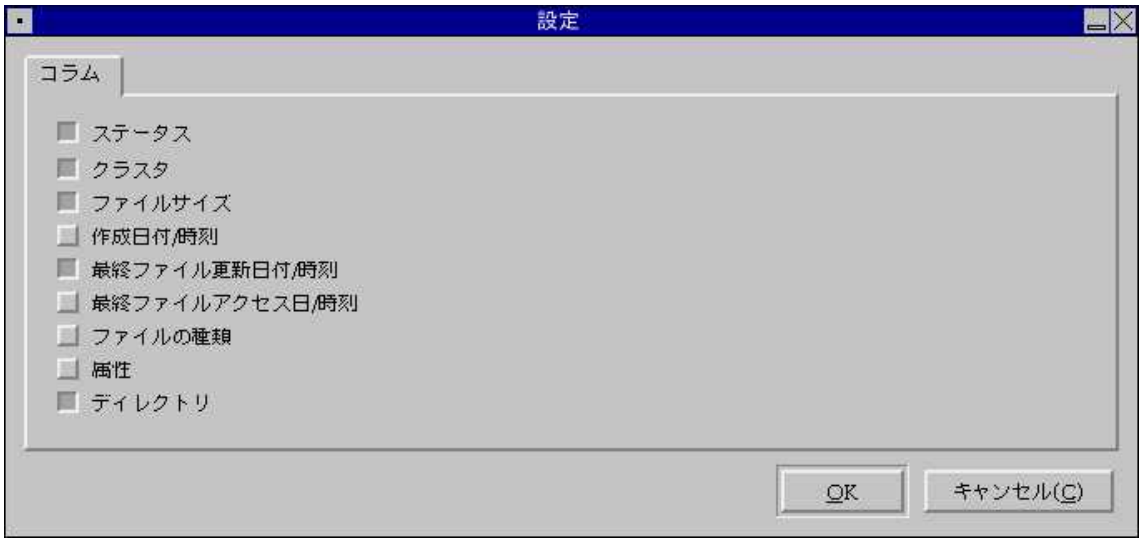
[ファイル] -[検索]で開きます。指定したファイル名や日付で検索を行い、結果を[検索結果]フォルダに表示します。

ファイル名にはワイルドカードを使用することが出来ます。詳しくは、Windows 版ヘルプ(マニュアル)の「復元したいデータを検索」を参照してください。

日付は、 をクリックして検索の対象を作成日付/更新日付/アクセス日から選択し、開始日付と終了日付を指定します。

設定画面

[ファイル] -[設定]で開きます。スキャン結果の画面にて、画面右側に表示される項目を選択します。

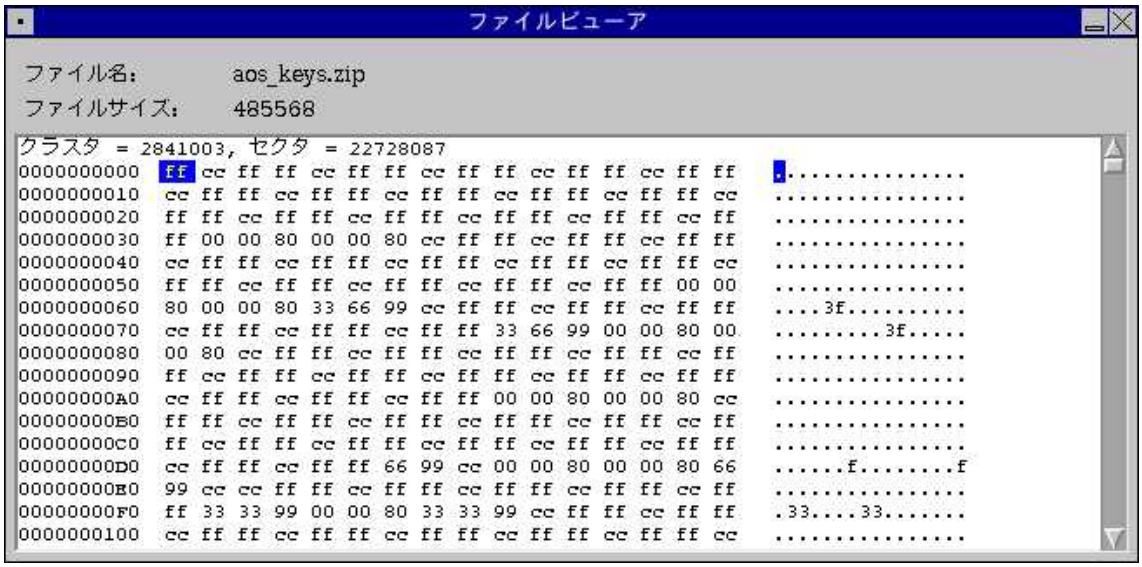


プレビュー

復元したいファイルを選択した状態で [表示]-[プレビュー]、または、右クリックしてメニューより[プレビュー…] を選択すると、復元の前にファイルの内容を見ることができます。テキストファイルや HTML の一部、画像ファイルの一部(*.bmp、*.gif、*.png、*.jpg)に対応しています。

ファイルビューア

[ファイルビューア]は、16 進数コードでファイルを表示(ダンプ)します。この機能は、ファイルを分析する時に役立ちます。



ディスクビューア

ディスクビューアはドライブ全体をセクタ単位で表示することができます。

名前変更

ファイルを選択した状態で [ファイル]-[名前変更]、または、右クリックしてメニューより [名前変更] を選択すると、ファイルの名前を変更できます。

情報

ファイルを選択した状態で [ファイル]-[情報]、または、右クリックしてメニューより[情報…] を選択すると、ファイルの名前、サイズを確認、変更できます。

ウイルスなどによってファイル情報が破壊された場合、サイズを変更することによって対象のファイルを復元できることがあります。詳細は Windows 版ヘルプ(マニュアル)の「ウイルスによってファイルサイズを変更された場合」を参照してください。

FAQ

CD ブート版が起動しません。

Windows が起動してしまいます: Windows をシャットダウンします。電源を入れなおし、コンピュータの取扱説明書に従って CD-ROM から起動するように設定を変更します。「セットアップユーティリティ」「BIOS の設定画面」「Setup」という項目で説明してあることが多いです。CD-ROM からの起動方法が記載されていない場合でも、リカバリディスクの使い方として説明されていることがあります。

また、ノートパソコンで外付けのディスプレイを使用している場合は、外付けのディスプレイを外してみて下さい。

詳しくは、お使いのコンピュータのサポートセンターにお問い合わせください。

オプション入力画面が表示された後、画面が黒くなってしまいました: CD-ROM ドライブが止まっているかどうか確認してください。CD-ROM からデータを読み出しながら動作するため、特に古い CD-ROM ドライブをお使いの場合、シリアル番号入力画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。

CD-ROM が止まっていて、画面が黒いままの場合、お使いのコンピュータの構成を正しく認識できなかった可能性があります。まず、Ctrl キーと Alt キーと back space キーを同時に押して、画面が表示されたら Ctrl キーと Alt キーと Del キーを同時に押して、再起動できるかどうか試してみてください。画面が表示されない、あるいは、再起動しないようであれば、電源スイッチを長めに押して、電源を切ってください。

次に、再び CD-ROM から起動させ、オプション入力画面にて svga と入力し、Enter キーを押してください。

これでも画面が黒いまま止まってしまった場合、お使いのコンピュータでは CD ブート版 FINALDATA を使用することができません。お手数ですが、別途ハードディスクを用意、Windows と FINALDATA をインストールしてから復元作業を行うか、データ復旧サービス(http://data119.jp/)をご利用ください。

オプション入力画面で、入力した文字がキーボードに書かれているものと異なります。

オプション入力画面では、英語配列のキーボードが繋がっているものとして処理されます。従って、日本語配列のキーボードから入力しても、異なる文字が入力されることがあります。

入力することのある文字のうち、キーボードに書かれているものとは異なる文字が入力されるものを次に示します。

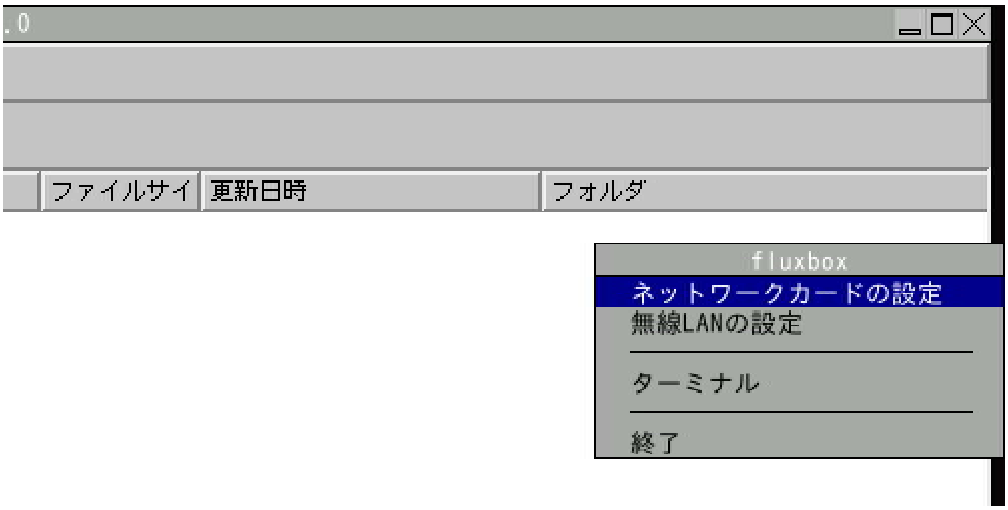
入力される文字	@	^	&	*	(	)	_	+	=
キーボード上の刻印	“	&	‘	(	)	(Shift を押しながら 0)	=	~	^

Windows のドライブ(C: や D:)が見つかりません

どのパーティションにどのドライブ文字を割り当てたかは、Windows が管理しています。管理している Windows が起動しない以上、ドライブ名は不明です。物理ドライブをスキャンし、検出されたパーティションの位置やサイズから推測してください。

ネットワークの設定

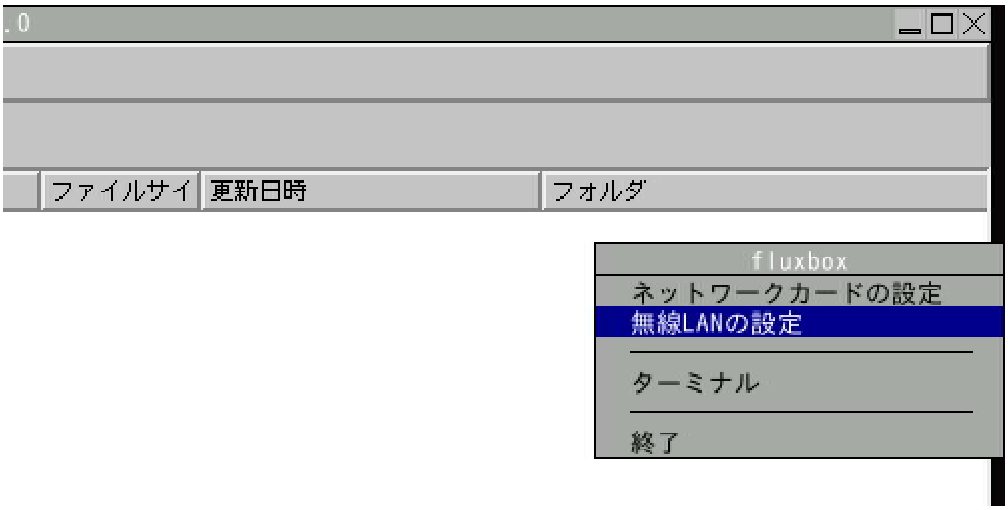
既定では IP アドレスを自動的に取得するように設定されています。手動での設定が必要な場合は画面右端でマウスを右クリックし、表示されるメニューから[ネットワークカードの設定] を選択します。



設定項目が順番に表示されるので、1 つずつ適切に回答していきます。

無線 LAN は使用できますか。

サポートしていません。画面右端でマウスを右クリックし、表示されるメニューから[無線 LAN の設定] を選択することで、使用できるかもしれません。



動作が遅い。

CD-ROM から必要な情報を読み出しながら動作しています。表示に使用する文字のデータなども CD-ROM から読み出すため、文字の多い画面を表示するときは特に遅く感じられることがあります。より高速な CD-ROM ドライブに交換したり、メモリを多くして読み出したデータを一時的に保存する領域を大きくすることで、改善されます。

ワイド画面(横長)で使用すると、全体的に横に長く表示されます。

オプション入力画面にて svga と入力し、Enter キーを押してください。状況が改善されることがあります。

Windows 共有フォルダに接続画面で OK をクリックすると、英語のメッセージが表示されます。

Windows 共有フォルダに接続しようとしてエラーになっています。各項目に正しく入力したかどうか確認してみてください。また、Windows 共有フォルダに入力する際、コンピュータ名ではなく IP アドレスを使ってみてください。

漢字が入力できません。

画面左上の[半角/全角]キーを押すことで、漢字入力/通常の入力 を切り替えることが出来ます。入力はローマ字で、変換はスペースキーで行います。
[かたかなひらがな]キーを押すと、入力される文字が全角ひらがな/全角カタカナ/半角カタカナに切り替わります。

ひらがなに変換されずに、アルファベットが出てきます。

大文字で入力すると、ひらがなに変換されません。[Shift]キーを押しながら[Caps] キーを押して、小文字で入力されるようにしてください。

全然違う文字が入力されます。
[alt]キーを押しながら[カタカナひらがな]キーを押してみてください。

復元しようとしたら、外付けディスクが見つかりません。
CD からブートしたときに繋がっていたディスクは、USB ハードディスクや USB フラッシュメモリを含め、内蔵ハードディスクと同じ場所に見つかります。/ramdisk/home/knoppix/ディスク/ の中を探してみてください。
また、外付けディスクを接続してから使えるようになるまで、少々時間がかかることがあります。しばらく待ってから/ramdisk/home/knoppix/usb/ の中を捜してみてください。
なお、USB ハードディスクや USB フラッシュメモリは「USB Mass Storage Class 仕様準拠」のもののみサポートしています。

FINALDATA を終了させたら、画面が黒いままです。
まれに、画面の再設定に失敗することがあります。
画面が映らない状態でも、終了処理は行われています。しばらくすると CD-ROM ドライブのトレイが開きますので、FINALDATA の CD を取り出してから、トレイを閉めてください。
いつまで待っても CD-ROM ドライブのトレイが開かず、CD-ROM ドライブのアクセスランプも点いていないようであれば、CD-ROM ドライブのイジェクトボタンを押して FINALDATA の CD を取り出した後、コンピュータの電源スイッチを長めに押して、終了させてください。

その他

ユーザ登録、技術サポート等、本マニュアルに記載していない項目については、Windows 版ヘルプ(マニュアル)をご参照ください。